

ちよつといし話

～彼岸に想いを～

赤ん坊が無垢で生まれてくる。私も時折その様に話を
する事があります。それは現代社会のモラル（倫理、道徳）
を家庭生活から切り離して考えようとするからです。子供
は悪くない、社会が悪い、社会の改善をと叫ぶ、私は常に、
社会は家庭の集合体ですよ、と話しをします。それは各家
庭がモラルを守れば社会は必然的に良くなるはずだからで
す。では何故難しいのでしょうか？私は信仰の欠如が大き
く起因していると思います。家庭は分裂を繰り返し、おお
くの山野、田畑を潰し団地や、住宅にしました。その結果、
家には仏壇も神棚も無く、人間様が此の世で一番になっ
たかの如く錯覚をしてしまったからだと思います。新しく切
り開けば当然ながら、自然災害を受けやすくなるでしょう。
自分第一主義から受身の何々をさして、やらさして頂くと
云う、謙讓的立場が取れると良いと思います。赤ん坊が本
当に無垢で生まれて来るのでしょうか？**仏教では過去、現
在、未来の三界を流転します。**ですから当然赤ん坊も、仏
教では先祖の因縁、因果を以って生まれて来ると教えてい
ます。だから自分のして来た事が孫や孫の子供に影響を及
ぼしてしまうのです。譬えば、昔、役得で財産を増やした
人の子孫は大変だと思えます。財産がらみの恨みは消えに
くい。又、泣かした人がいれば、泣かされる。要するに悪
い結果を残して死ねば、その種を持って生まれるから、よ
ほど家庭の環境を充実させないといけません。それには各
家に仏壇、神棚を置き本尊様、ご神体を祀り、併せて、祖
先の魂を追善供養し早く成仏させる事です。成仏＝平和な
社会。全ての人間が望むところでしょう。第38号参照

善入院油掛地藏尊